

事業番号	05 07 03	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■ 当初要求 □ 当初予算案 □ 補正予算案 □ 点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局 実施期間 H6 ~	健康福祉部 E-mail shippei-kansen @ pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

- ・発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない、希少な疾病であって、長期の療養を必要とする「難病」の患者に対して、療養生活環境の整備や「指定難病※1」に対しての医療費助成等を行ってきている。
  - ・2024年県民の死亡原因の22.3%※2を占める循環器病や国民の約二人に一人が有していると言われるアレルギー疾患等、県民の生命や健康を脅かすさまざまな疾病が存在する。
- ※1客観的な診断基準が確立しており難病法で指定されている疾病 ※2心疾患13.6%、脳血管疾患7.2%、大動脈瘤及び解離1.6%の計

## 2 事業目的

- ・難病を含む各疾病の患者が安心して療養生活を送れる社会を構築する
- ・県民が各疾病を理解し、その予防に努め、罹患数及び死亡数を減少させる
- ・各疾病に対し、病期に応じて質の高い医療が提供される体制を整備する

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①難病対策の推進

- ・指定難病等の患者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部を助成
- ・難病患者が適切な治療を受けながら療養生活を送れるよう、地域関係機関と連携し、難病に係る医療提供体制、相談体制を整備

### ②その他疾病対策の推進

- ・県民の疾病に対する理解や関心を高めるため、啓発活動を実施
- ・【新】循環器病の患者の病期に応じた適切な支援体制の構築を図るため、医療関係者向けの地域連携・多職種連携に係る研修会や県民向けの普及啓発等を実施
- ・疾病を発症しても社会復帰できるよう、治療と仕事の両立支援等の啓発活動を実施

### ③骨髄等提供の推進

- ・骨髄バンク登録者数の増加に向け、関係団体と協力し啓発活動等の登録促進活動を実施
- ・ドナー候補の提供辞退を防ぐために、骨髄等提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部を補助

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし –: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	難病患者の支援者への機器等の取り扱いに関する研修会の受講者数	人	47	49	↗	50	50	↗	50	↗	研修の過去の受講者数から、50人/年の受講を目標とする
③	対象人口千人あたりのドナー登録者の割合 都道府県順位 ※対象人口（18歳～54歳）	位	43	42	↗	41	41	↗	向上	↗	他県と比較して下位であり、長期的には全国平均並みに登録者を増やすことを目標としているため、都道府県順位の令和7年度実績からの向上を目指す。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)[男性]	位	2021 (R3)	1	2022 (R4)	1	2023 (R5)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)[女性]	位	2021 (R3)	1	2022 (R4)	1	2023 (R5)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命[男性]	位	2020 (R2)	2	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命[女性]	位	2020 (R2)	4	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	在宅での看取り(死亡)割合(自宅及び老人ホームでの死亡)	位	2022 (R4)	11	2023 (R5)	13	2024 (R6)	14	2026 全国トップ クラス	

## 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	2月上旬公表予定		0	0		25.2
	要求	3,658,165		3,658,165	1,838,861		
R7年度	0	3,331,925	0	3,331,925	1,675,062		25.2
R6年度	0	3,302,545	40,468	3,343,013	1,698,178	3,186,417	25.2

事業番号	05 07 03	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■ 当初要求 □ 当初予算案 □ 補正予算案 □ 点検
事業名	難病及びその他疾病対策事業	部局	健康福祉部 課・室 疾病・感染症対策課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	難病対策推進事業	3,289,542 千円	3,319,038 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 3,647,418 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特定医療費助成事業	直接	指定難病の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）を公費で負担する 支給対象17,692人（令和7年3月31日現在）	
2	特定疾患治療研究等事業	直接	・特定疾患・先天性血液凝固因子障害等の治療に係る医療費の自己負担分を公費で負担する ・特定疾患の治療に係る医療費の自己負担分（患者一部負担額を除く）を公費で負担する 支給対象116人（令和7年3月31日現在）	
3	遷延性意識障害者医療費給付事業	直接	遷延性意識障害者の治療に係る医療費の自己負担分を公費で負担する 支給対象5人（令和7年3月31日現在）	
4	難病特別対策推進事業	直接 委託	・難病診療連携コーディネーターの配置【委託先：信州大学医学部附属病院】 ・難病医療ネットワークへの参加、在宅難病患者の一時入院の調整 ・在宅重症難病患者の一時入院に係る病床確保協力金の支給 コーディネーター（医師1名）の配置、入院調整想定3人、協力金の支給想定3件	
5	療養生活環境整備事業	直接 委託	・難病相談支援センターの設置【委託先：信州大学医学部附属病院】 ・電話・面談・訪問等による相談支援、患者会支援等の実施 ・難病患者等ホームヘルパー養成研修の開催 相談件数想定7,000件、研修開催（1回）	
6	在宅難病患者支援者育成事業	直接 補助金	・在宅難病患者への療養生活支援機器（意思伝達装置等）の貸出 ・難病患者の支援者への機器等の取り扱いに関する研修の開催 ・呼吸リハビリテーション研修会開催等に要する経費に対して補助 希望に応じて機器を貸出10件、研修会開催（2回）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	その他疾病対策事業	13,003 千円	12,887 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 10,747 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	循環器病対策推進事業	直接 委託	・効果的な循環器対策の検討等に向けた協議会の開催 ・疾病の正しい知識の定着、治療と仕事の両立支援等の普及啓発を実施 協議会開催（1回）、啓発企画の実施（2回）	
2	循環器病地域連携ネットワーク整備推進事業	委託	【新】循環器病の患者の病期に応じた適切な支援体制の構築を図るため、地域連携・多職種連携構築に係る研修会や県民向けの普及啓発等を実施 医療関係者向け研修会の実施（6回）、県民向け公開講座の実施（1回）	
3	生活習慣病医療連携体制基盤整備事業	直接	脳卒中、心臓病等の生活習慣病に携わる医療従事者等に対する研修会の開催 研修会開催（2回）	
4	アレルギー疾患対策推進事業	直接	アレルギーに関する医療の現状や課題把握、対策の検討を目的とした連絡会議の開催及び普及啓発の実施 連絡会議開催（1回）、啓発企画の実施（1回）	
5	骨髓提供希望者登録推進事業	直接 補助金	・関係団体と協力した普及啓発活動、登録促進活動の実施 ・骨髓等提供時のドナー等に対する市町村助成金の一部補助 啓発企画の実施（1回）、市町村への補助件数想定29件	